

# じしんの ときの こうどう

題材のねらい

様々な場所における地震時の基本的な身の守り方を身につける。

教科等との関連

学校行事（3）健康安全・体育的行事

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入	地震が起きた時の様子を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震が起きた時、教室がどのような状況になるか想像させる。</li> <li>窓ガラス、蛍光灯、テレビ、本棚など上や横からいろんなものが落ちてきたり飛んでくることに気付かせる。</li> </ul>
展開	地震発生時における身の守り方を考える。  ○学校では  ○家では  ○まちでは	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校では地震時に机の下にかくれる等、身近なもので頭を守ることを理解させ、実際にやらせる。</li> <li>家やまちの中では、地震時の危険空間に目を向け、頭を守ったり危ない所から離れたりする避難行動について考えさせる。</li> </ul>
まとめ	安全な避難の方法をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「お・は・し・も」の意味を理解させ、集団で行動することから、指導者の指示をしっかりと聞くことの大切さを理解させ、防災訓練につなげる。</li> </ul>

自分の身は自分で守る

## じしんの ときの こうどう

じしんの ときは、おちついて こうどうしましょう。  
学校でも いえでも まちでも、きほんは おなじです。

**A** ゆれが きたら  
**あたまを まもる**



ゆれている あいだは  
**むりに うごかない**



**C** ひなんする ときの やくそく



かいだんでは おさない  
ししが きこえる ように はしらない  
にもつぎ とりに しやべらない  
も どらない

**B** あぶない ところから  
**はやく はなれる**



防災訓練 1年 10
11
1年 防災訓練

- A** 地震発生時、教室の様子がどうなるのか、絵を参考に、教室がどのような状況になるのか考える。窓ガラスやテレビ、本棚などの危険について具体的にイメージさせる。
- B** 家の中の様子から、揺れている間、無理に動くことは危険であることをおさえる。また、倒れる危険物や上からの落下物が予想される状況では、その場から素早く離れることの大切さに気付かせるなど、危険を回避する身の守り方を理解させる。
- C** 「お・は・し・も」を守らないと、どのような状況になるのかを考えさせ、災害時に指導者の指示をしっかりと聞く態度を育てる。